作新学院高等学校同窓会報

発行　作新学院同窓会　〒321-0027　宇都宮市塙田1-3-27　船田教育会館内　TEL 028-621-9083　FAX 621-3941

第91回全国高等学校野球大会出場（県大会の出場権を得て甲子園全国大会で堂々の入場式）2009.8.8

同窓会の皆さんへ

学院建学「一校一家」の精神を発揮しよう。

会　長　大渕 皓之
（高10回卒）

同窓会のみなさん、お元気ですか。みなさまには日頃より何かとお力添えをいただき、また同窓会の運営につきましてはいろいろとご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

今、日本の経済は昨年のリーマンショックに端を発する、世界経済の急激な落ち込みで生産設備や労働の過剰感が強まり、価格競争が起こりやすくなっています。物価の下落が続くと消費や企業収益に下押しの圧力がかかり、ますます不況に落ち入ります。特に中小企業においては先が見えずに不安が多くなります。また、雇用状勢も激しくなり、来春卒業する高校生も就職内定率で40%台では若い人たちが人生設計も立てられない状態です。

9月に自由民主党から民主党へと政権が交代されて4ヶ月「脱官僚依存」や「行政のムダ消滅」などを重点政策にしているが、国民の生活、経済の対策をどこまでやってくれるのか期待しているところです。

さて、同窓会は本年も引き続き組織の強化を目標に頑張っていきたく、同窓会の役員のみなさまには大変な協力をいただいておりますが、更なるご協力をいただきながら組織の強化を図って行きたいと思います。

昨年は若い皆さんの協力を得て、青年部（新青会）が30余名で発足し活動を始めました。これからハイキング、バーベキュー、ボーリング、ゴルフなどを通じてお互いに親睦を図り、輪を広げて組織の活性化に寄与していただきたいと思います。

同窓会としては、まさにこのような時だからこそ、作新学院の建学の精神である「一校一家」の精神を発揮し、作新学院に関係するみなさんや同窓生などがあたかも大きな家族であるように、お互いに助け合い、励ましあいながら、成果をあげていただければと思います。

今後の、みななさんの益々のご活躍と、ご健勝をお祈り申し上げます。

学院125周年の節目 作新の飛躍の年に

作新学院　院長　船　田　　元

作新学院高等学校同窓会の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

昨年は現役高校生がさまざまな分野で大活躍してくれました。全国大会で３冠をとったボクシングの吉野君、自転車ケイリン優勝の福田君、軟式野球の全国最多の8回制覇、水泳で2冠をとった萩野君、女子ゲートボールのジュニア優勝、そして硬式野球の夏の大会31年ぶりの出場など、枚挙に暇がありません。久しぶりに「作新の風」が吹き起こったと心から喜ぶとともに、選手諸君の大健闘に惜しみない拍手を送りました。今年もこの勢いを継続してもらいたいと願っております。

また昨年は新型インフルエンザの流行も目が放せませんでした。現在でも季節性インフルエンザと相俟って、警戒レベルを超えていますが、本学院でも一定の罹患生徒が発生しています。しかしながら学級閉鎖やうがい・手洗いの励行など、臨機応変で適切な対応を続けておりますので、何とか大事に至らずに推移しています。今後とも決して侮らず、万全の対応をしてまいります。あらためて感染症の脅威を感ぜざるを得ない昨今です。

さて昨年11月には学校法人の理事会で、法人の組織変更が全会一致で承認されました。新体制は今年4月からスタートしますが、これまでの学校法人「船田教育会」は大学と短大のみを運営し、新たな学校法人「作新学院」が高校から幼稚園、理容美容専門学院を運営することとなります。これは清原キャンパスと一の沢キャンパスがそれぞれ独立採算的に運営することで、経営責任の明確化やガバナンスの集中・強化を図るためのものです。少子化の続く現在から将来に向けて、作新学院全体の活性化を目指すものですので、同窓会皆さまのあたたかいご理解を宜しくお願いいたします。

作新学院高校では、現在英進部・総合進学部・情報科学部それぞれに、特徴のある教育実践を続けています。英進部ではこれまで以上に大学進学の実績を伸ばすために、コース制からクラス制に移行して、よりきめ細かな学習指導を行います。宇都宮高校長からお出でいただいた國井部長を先頭に、早朝から夜遅くまで指導が展開されています。

総合進学部では長谷川部長を先頭に、大学進学から就職までの幅広い進路に対応できるよう、きめ細かな進路指導を実施しています。部活動の中心選手をバックアップするほか、昨年からはマンガ・アニメを教材とした全国初のカリキュラムを実施しており、注目を集めています。情報科学部では栃木部長を先頭に、各科の専門性を一層充実させ、複数の資格取得を通じて厳しい就職戦線を勝ち抜く実力を養っています。

今年は作新学院創立125周年の節目を迎えます。様々なイベントの実施を検討していますが、同時に作新の一段の飛躍の年にもしたいと考えます。同窓会皆さまの今年一年のご健勝と、母校・作新学院高校への温かいご協力を切にお願いいたします。

社会で生き抜くための「人間力」の育成を

作新学院　院長代理　船田　恵

新年明けましておめでとうございます。日頃は、作新学院の活動に温かなご理解とご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

お蔭様で当学院も、今年は大きな節目となる建学125周年を迎えさせていただくこととなりました。

しかし、新政権による日本の現状を見ると、急速に進む円高と景気対策への無策を反映して株価は世界市場で一人負け、大卒の就職率は６割強と大氷河期並みで、遂にデフレ突入を宣言せざるをえない始末。さらに安全保障では、基地問題など混迷を極め、そんな日本の頭越しに米・中の両国は急接近と、不安と税負担だけが増幅して行く毎日です。

しかも、「事業仕分け」なる乱暴きわまりないパフォーマンスにおいては、なんの評価基準も示されず、利益相反もチェックされぬまま、十分な専門性や理解力を持たない議員や一般人によって、私たちの大切な税金の投資先がごく短時間に決定され、その結果、科学技術や文化・教育など、将来への投資と言える分野が軒並みカットされ、これでは子どもたちが社会に出る頃の日本は、確実に三流国に落ちぶれていることでしょう。

政権交代とともに、もう「お上」にすべてを委ねていられる日本は終わりました。これからは、問題解決に向けて自分の頭で考え、自分の心で感じ、自分の手足をフルに使って、生活や社会を作り上げていける人間でなければ、この国では生き残っていけないでしょう。

作新学院は、これまで一貫して、日々変化してゆく世の中を新たに切り拓いてゆける人材を育成することに、全力を注いで参りました。社会で生き抜くための「人間力」が、より問われるこれからの世の中こそ、作新教育の真価が発揮される好機であると、私は大いに期待しております。

どうか今後とも変わらぬご支援を賜れますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈りいたしております。

学院近景

今年も作新の風を吹かして 125周年へ

高等学校　校長　佐藤孝明

同窓会員の皆様、新年おめでとうございます。

日ごろから、作新学院高等学校の教育に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、平成21年を振り返って見ますと、各方面で作新の風が吹き荒れた年でありました。古豪復活と讃えられた硬式野球部の31年ぶりの甲子園出場。二年連続史上最多の８回目の全国優勝を果たした軟式野球部。また、高校総体ではボクシングの吉野修一郎選手・水泳の森洋介選手・そして自転車競技の福田拓也選手らが全国優勝をなしとげました。女子のゲートボール部も全国一に輝きました。学院内に生徒諸君の挨拶の声が飛び交い部活動も活性化し実績が上がる。学校力が更に充実していますので、これから最盛期を迎える大学入試や不況の中厳しさが喧伝されている就職試験にも遺憾なく作新力を発揮して好成績をあげることができると思います。各分野での活躍をはずみとして創立125周年を迎えたいと思います。

同窓会員の皆様の更なるご協力とご支援をお願い申し上げましてご挨拶と致します。

新任ごあいさつ

高等学校　副校長・総合進学部長　長谷川　勝比古

同窓会会員の皆様、明けましておめでとうございます。私は、昨年4月から副校長・総合進学部長を務めさせていただいております。作新学院の発展のために、微力ながら力を尽くしてまいりたいと存じます。皆様に、年度当初に先生方とともに確認した、総合進学部の指導目標の一部をご紹介いたします。

(1) 多様な進路選択への丁寧な指導
(2) わかる授業・達成感の持てる授業・特色ある授業の実践
(3) 確かな指導で全国優勝を目指す部活動の活性化

高校時代は、その後の人生を左右するほど重要な意味をもつ3年間です。すべての生徒にとって充実した3年間になることを願ってやみません。そのためにも上に挙げた指導目標の実現は不可欠で、総合進学部の先生方は日々工夫と実践を続けております。同窓会会員の皆様におかれましても、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

学院近景

平成21年度 同窓会定時総会

総務企画部　部会長 坂本　功樹（高27回卒）

作新学院高等学校同窓会の定時総会は、平成21年6月19日午後6時から、宇都宮市泉町の「ホテル丸治」において、船田　元院長、佐藤孝明校長、英進部、総合進学部、情報科学部の各部長を来賓に迎え、同窓会会員150名が参加して開催致しました。

当日の定時総会は、金田真麒副会長（昭35卒）の開会の挨拶で幕を開け、CDにての学院歌を出席者全員で斉唱後、昨年9月26日に逝去された船田昌子名誉学院長並びに、同窓生の物故者に対し黙祷を捧げました。そして、大渕晧之会長（昭33卒）が「偉大な先輩たちが築きそして躍進を続ける作新学院を、これからも学校と一体となって発展させることが、同窓会の強化にもつながることになるので、皆様と共に頑張りましょう」などと挨拶。続いてご多用の折にもかかわらずご出席頂きました船田元院長が「同窓会員の皆様のご協力のおかげで、現在の作新学院があります。今後とも皆様が一致団結して、作新学院を支えて頂ければありがたい」などとご挨拶を頂きました。

この後、角田充由さん（平6卒）と櫻井英治さん（昭57卒）を議長団に選出し議事に入り、事務局及び総務企画部会、組織財政部会、広報部会、文化厚生部会から提出された20年度の決算・会計報告、平成21年度の予算・事業計画などについて審議し、満場一致で承認されました。また、役員補選、同窓会会則改正についても承認されました。

総会終了後、別室で懇親会を開催し、和田藤吾元会長の乾杯の音頭の後、用意された飲み物や料理を頂きながら、久しぶりに出会った先生や旧友達との、和やかな歓談に入りました。そこで、前年に続きハワイアンバンドの演奏により、しばらくの間、懐かしい音楽に聞き入りながら、参加者皆様の弾んだ声が飛び交っていました。

最後に、今回の定時総会並びに懇親会では例年と異なる会場となり、多々ご心配をお掛け致しましたが、皆様のご協力により滞りなく開会できましたことを、心より感謝申し上げます。

学院近景

英進部

今年成人を迎えられる卒業生
ご成人おめでとうございます。

ご成人おめでとうございます。 成人式を迎えられた皆様に心よりお祝い申し上げます。

現在の成人式は「大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます」趣旨で戦後始まったといわれていますが、「作新」の由来となった『大學』の一節に「如切如磋者、道學也」「如琢如磨者、自脩也」とあります。二十歳を機としてさらに勉学を深め、成人としての自覚を持って、社会に参画する大人となる自分自身の修養に努めることが要請されることと思います。高校時代に培った「自学自習」「誠実勤労」の精神を、これからの歩みの中で具現してください。創立125年の伝統を誇る作新学院の「一校一家」の校風は良き師、良き友、良き学び舎との一生の繋がりです。

「内外、天地とも平和が達成される」意という「平成」も二十年を超えましたが、平成生まれの皆様はこの時代の担い手であり、変化の様相が感得される現代にあって、新らしきを創る、良きリーダーと成長されていくことを確信しています。

皆様のご健勝とご多幸、そして今後の大いなるご活躍を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

平成19年度英進部　第3学年主任　**高橋　京子**

平成19年度卒業時の３学年担任の先生方

株式会社 **落合東光園**（造園・土木）
代表取締役 落合　功〔昭和37年卒〕
上三川町川中子921　☎0285-56-3751

東野観光㈱（旅のことなら）
斎藤　操〔昭和37年卒〕
高梨義久〔平成3年卒〕
宇都宮市平出工業団地19-8　☎028-660-2441

手塚・吉高神司法書士事務所
司法書士 吉高神　渡〔昭和45年卒〕
宇都宮市小幡2-6-10　☎028-627-0521

藤田勝春法律事務所
弁護士 藤田勝春〔昭和35年卒〕
宇都宮市清住3-1-14　☎028-625-3266

平成19年度卒業時の３学年担任の先生方

今年成人を迎えられる卒業生 ご成人おめでとうございます。

総合進学部

成人式を迎えられました皆様には、心よりお祝いを申し上げます。

皆様には作新学院在学中に培った、一校一家の校風や誠実勤労の精神を、一社会人として、その実力を各方面において遺憾なく発揮されていることと思います。そして、心身ともに立派に成長されて、社会人としての義務と責任を背負い、自己確立に精進していくことと思います。しかし、昨今の厳しい経済・社会環境の中、世界的規模で流動化の波が押し寄せています。この現実を直視して、知性を磨き、心身を鍛錬し自らの判断のもと、責任ある行動をとってほしいと願っております。

今後の皆様の成長と、ご健康ご多幸を心から祈念いたします。

平成19年度総合進学部　第３学年主任　吉羽　茂
第３学年主任　安西　幸男

㈲ 坂本商店（業務用青果・漬物製造卸）
代表取締役　坂本　昭〔昭和31年卒〕
宇都宮市京町3-4　☎028-633-4003
FAX 028-632-9148

㈱ 大貫商店（紙一式）
早乙女ヒロ子〔昭和21年卒〕
宇都宮市二荒町9-3　☎028-634-4131

「割烹弁当」の新三
新三 で 検索 クリック
http://www.shinza.co.jp/
パンフレットをお送り致します。ご連絡をお待ち致します。
代表取締役　鈴木郁夫〔昭和24年卒〕
宇都宮市今泉3-12-30　☎028-622-8337

県内屈指の「電子申告推進事務所」
税理士法人 尾花会計パートナーズ
代表社員・税理士　尾花一浩〔平成元年卒〕
社　員・税理士　尾花兼司〔平成２年卒〕
〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2
TEL 0289-62-8345　FAX 0289-62-8346　URL http://j-obana.tkcnf.com/

今年成人を迎えられる卒業生 ご成人おめでとうございます。

情報科学部

社会人としての誇りと自覚を胸に！

ご成人おめでとうございます。皆さんが母校、作新学院を巣立ってから、早二年の月日が経とうとしています。上級学校へ進学した方、または就職して見事に自立を果たした方、それぞれの人生に大きな期待を寄せるしだいです。

いま、こうしてお祝いの言葉を書いておりますと、皆さん一人ひとりの顔か懐かしく思い出されてまいります。と同時に、活躍の場を「社会」というフィールドに移し、誇り高き成人として、悔いの残らぬ人生を過ごすために精一杯頑張ってほしいと思います。

皆さんが、たくさんの思い出を刻んできたように、人生という多岐にわたる長き道程を確実に一歩一歩、噛みしめるように歩んでいってほしいと心よりご祈念申し上げます。

平成19年度情報科学部　第３学年主任　**西海石　量一**

平成19年度卒業時の３学年担任の先生方

インテリアアール　タカノ
高野博子〔昭和26年卒〕
宇都宮市上戸祭3-3-2　☎028-643-6231

株式会社 ロココ 企画装飾
代表取締役会長 関　正三〔昭和24年卒〕
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32
TEL 028-662-6551㈹　FAX 028-663-3579

元氣の里
（特別養護老人ホームケア・ハウス）
施設長　角田充由〔平成５年卒〕
宇都宮市幕田町1456-1　☎028-655-2611

伴印刷株式会社
http://www.bannet.com/
代表取締役 伴　清〔昭和35年卒〕
常務取締役 伴　誠〔昭和62年卒〕
宇都宮市栄町6-10　☎028-622-8901

昨年度卒業生の進路状況

～一橋大学・東京工業大学・早稲田大学・慶應義塾大学などの難関大学に多数合格～

平成20年度の本校卒業生1,211人の進路内訳は、4年制大学進学が527人、短期大学進学が56人、専門学校(予備校を含む)進学が311人、就職(自営従事等を含む)は317人であった。これを全体の割合で見ると、進学者が73.8%、就職者が26.2%ということになる。

大学進学で特筆すべきは、国公立大学難関校と私立大学難関校の合格者数が増加したことである。国公立大学では、一橋大学・東京工業大学・東北大学・北海道大学・筑波大学・横浜国立大学・東京藝術大学・東京学芸大学・東京農工大学・埼玉大学・首都大東京・宇都宮大学などに、合わせて54人(英進52・総進2)の合格を果たした。私立大学では、早稲田大学・慶應義塾大学・上智大学の最上位大学に12名、東京理科大学・立教大学・明治大学・青山学院大学・中央大学・法政大学・学習院大学のいわゆるMARCHレベル大学に57名、合計898人(英進525・総進282・情報91)もの合格者を出した。このうち、医歯薬系大学には、医学部9人・歯学部33人・薬学部14人が合格している。また、近年の実績を評価され、平成21年度には全国208大学から1,200人を超す指定校推薦枠をいただいた。このように、本校は、県立進学校に比べても決して見劣りしない大学進学状況であるが、各部ともに生徒の進学意識を高めて、いっそうの学力増強を図るため、教員の研鑽によって授業を充実させることはもちろん、「学習合宿」「進学相談会」などを積極的に企画・実施した。また、校内の「自主学習室」など学習環境整備も着々と行っている。近年の合格実績は、これらの努力が結実したものと言えよう。

専門学校の進学については、社会の情勢や流行などが大きく影響する。校内でも「専門学校説明会」「体験授業」を数回実施し、確実な学校選択ができるよう目指してきたが、ゲーム・アニメなどの趣味的要素の強い分野が相変わらず人気を集め、その道でのスペシャリストを目指そうという意気込みが感じられる。また、幼児保育・看護・福祉など、これからの社会を支える大事な仕事を目指して進学した生徒たちにも激励のエールを送りたい。ひところとは違って県内専門学校志向が強いのも、昨今の経済不況と無縁ではないと思われる。

最後に就職状況に触れてみたい。本校では、入学後の早い段階からキャリアプランの指導を行い、身近なところから人生設計をスタートさせた。また、インターンシップを1年次から実施し、130余事業所で400人を越す生徒が就労体験を行った。さらには、外部講師による「就職講話」「公務員説明会」「企業説明会」「卒業生職場説明会」などを通じて、意識を常に高く持たせた。夏季休暇中には、希望企業を決定した生徒の多くが、会社説明会や職場見学会に参加し、入社意思をより強固なものにして秋からの試験に備えた。ところが、7月の求人開始は順調であったものの、9月半ばに発生したリーマンショックによる世界同時不況の波は県内求人にも波及し、10月以降の募集の停止だけでなく、内定の取り消しまで発生した。

そのような厳しい状況でも、本校の今年度の求人募集企業数が、717社にまで及んだことはありがたい。その求人情報は「学内LAN」で生徒にスピード配信していった。また、就職指導委員会では、県内の就職情報交換会に積極的に参加して、情報収集や独自の求人開拓などを行った。そうした積み重ねが功を奏し、初の卒業生を送り出す情報科学部の普通科総合選択コースと自動車整備士養成科の就職希望者を含む263人全員が就職を果たしたことは喜ばしい限りである。

平成20年度　卒業生進路先

部 ＼ 進路		卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校(含む予備校)	就職・自営
英進部	男	149	121	365	0	26	2
	女	142	116	219	7	17	2
	総数	291	237	584	7	43	4
総合進学部	男	300	151	194	2	82	65
	女	217	56	90	31	80	50
	総数	517	207	284	33	162	115
情報科学部	男	250	61	66	1	57	130
	女	153	22	25	15	49	68
	総数	403	83	91	16	106	198
総計	男	699	333	625	3	165	197
	女	512	194	334	53	146	120
	総数	1,211	527	959	56	311	317

作新学院　親交会
会長 荒井　祥
宇都宮市一の沢1-1-41　℡028-648-1811

荒川歯科クリニック
理事長 荒川敏明(昭和48年卒)
宇都宮市西川田本町4-1-3　℡028-645-5072

株式会社 寿屋 (設備器機販売施工)
ライファ宇都宮東 (INAXリフォーム)
代表取締役 齋藤貞夫 (昭和41年卒)
宇都宮市瑞穂1-15-11　℡028-656-6613

昭和車輌㈱ (重機の修理・販売)
代表取締役 坂本功樹(昭和50年卒)
宇都宮市上大曽町348　℡028-624-8553

硬式野球部 31年ぶり6度目の優勝 甲子園へ

軟式野球部 全国大会2連覇8度目の優勝・秋季関東大会にも優勝

ボクシング・水泳・自転車競技部インターハイで優勝体操競技・ゲートボールの各部も活躍

運動部

硬式野球部31年ぶり6度目の優勝　甲子園へ

第91回全国高校野球選手権栃木大会おいて31年ぶり６度目の優勝を果たし、甲子園に出場した。長野日大との試合は残念ながら敗北してしまったが、息を呑む打撃戦は多くの観客を魅了した。

史上初の全国大会4冠達成

第51回関東高等学校ボクシング大会
総合進学部3年
清水　直也　フェザー級　優勝
総合進学部3年
吉野　修一郎　ライトウェルター級　優勝
総合進学部2年
斎藤　歩武　ライトウェルター級　準優勝
総合進学部2年
助川　康平　ミドル級　準優勝
総合進学部1年
荒川　萬丈丸　ミドル級　準優勝
第64回国民体育大会関東ブロック大会
総合進学部3年
吉野　修一郎　ライトウェルター級　優勝
総合進学部3年
清水　直也　フェザー級　準優勝
総合進学部2年
安納　佑樹　ライトフライ級　準優勝
上記のような成績を上げ王者の風格を見せた。

吉野修一郎君　ライトウェルター級　優勝

軟式野球部　全国大会優勝　秋季関東大会優勝

軟式野球部は、第55回全国高校軟式野球選手権大会において、３年連続の優勝を果たした。決勝戦の試合は、30日兵庫県明石市明石公園球場で名城大付属高等学校を３対１で下した。秋季関東大会においても作新学院は、11月9日花咲徳栄を7対1で破り、1都6県から集まった10校の頂点にたった。

森選手インターハイ200・400メドレーで2冠

全国高校総体、競泳男子200メートル個人メドレーで森洋介くんは、自身の高校記録を0秒16更新する1分59秒17で優勝した。競泳男子400メートル個人メドレーでも4分15秒21の大会新記録で初優勝し、200メートルと合わせて今大会の個人メドレー２種目を制した。

ゲートボール全国ジュニア大会で2連続優勝

埼玉県熊谷スポーツ公園で行われた第14回全国ジュニア大会女子1部で、2年連続優勝を果たした。作新メンバーは、谷口さつき主将を中心に、青柳あかねさん、野澤早織さん、江川侑里さん、柴崎真美さんの5人。

平成21年自転車競技部インターハイ優勝

総合進学部３年
福田　拓也　ケイリン　優勝

第58回関東高等学校体操競技選手権大会

総合進学部３年
川田　悠司　鉄棒　準優勝

知事表彰受賞

団体　軟式野球部
個人　森　洋介（水泳）
吉野　修一郎（ボクシング）
福田　拓也（自転車）
指導者　黒川　陽介（軟式野球部）
高野　照三（水泳）
川島　弘行（ボクシング）
山本　宏恒（自転車）　の各教諭

イマイズミ（宝石・貴金属）
http://www.imaizumi-j.com/
代表取締役　今泉臣夫〔昭和37年卒〕
宇都宮市仲町1-13　☎028-622-3573

金田商会
代表取締役　金田眞麒〔昭和35年卒〕
宇都宮市松原1-5-5　☎028-622-1846

仲田総業株式会社
http://www.nakada.tv
専務取締役　仲田陽介〔平成3年卒〕
宇都宮市簗瀬町2520-4　☎028-635-2151

株式会社 鱒渕建設
代表取締役　鱒渕孝男
建築部　小牧英夫〔昭和56年卒〕
宇都宮市中央3-15-13　☎028-633-3261
E-mail:masu3261@snow.ucatv.ne.jp/

物理部 6年連続全国大会出場決定！

演劇・吹奏楽・かるた部も全国・関東上位入賞

文化部

物理部　6回連続全国大会へ

10月末に行われた栃木県児童生徒発明工夫展において金賞を受賞し、自動的に全国大会の出場権を得ました。

本校の作品は、11月6日の全校集会で船田学院長先生からご紹介戴きましたように、「チョーク飛散のない黒板拭き」です。黒板を拭くときチョークの粉がひどい時は85％以上も舞い上がっていますが、この黒板拭きによると0.2％にまで抑えることができます。またチョークの黒板残りも殆ど無くなり、さらに黒板と黒板拭きはいつも清潔に保持されていますので、授業の後の清掃は全く不要となります。

チョークの粉の重量測定

後日、日本で最大規模を誇るシンクタンクである野村総合研究所の調査によると、この作品は、日本はもとより世界で初めての作品である、とのことでした。私達は黒板を拭いた時、舞い上がるチョーク粉の重量を測定する方法も日本で初めて開発し、本作品の性能を数値で評価することに成功しました。

全国大会の最終結果は来年2月末に発表される予定で、今はそれまで3回行われる予備審査会へのレポート作成に追われています。

全国高等学校小倉百人一首かるた大会

7月に第31回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会が近江神宮において行われた。成績は、個人戦D級において清水寛子が、3位入賞した。

また、8月には第33回全国高等学校総合文化祭「三重大会」第17回小倉百人一首部門に出場し、団体戦でベスト16に入った。

なお、11月21日に神奈川県藤沢市で行われた第16回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会では、全国レベルの強豪埼玉県と神奈川県チームに勝ち、団体戦で3位入賞となった。

コンピュータ部1級合格　3冠王

大学進学系列3年山崎大輝くんは、情報処理検定協会が主催する検定試験において、3種目1級合格を果たし、3種目1級合格の表彰を受けました。その後、情報処理（表計算）検定は、初段に合格しました。現在も上級試験合格に挑戦中です。

山崎大輝君3冠王

情報処理（表計算）検定　初段
文書デザイン検定　1級
ワープロ検定　1級

演劇部

第33回全国高等学校総合文化祭・第55回全国高等学校演劇大会において審査員特別賞・舞台美術賞をダブル受賞。また、今年度も県大会で最優秀賞を獲得し、関東大会の出場が決定しています。

第33回全国高等学校総合文化祭・第55回全国高等学校演劇大会 ダブル受賞

吹奏楽部

第15回東関東吹奏楽コンクールの高校Aの部が、横須賀市の「よこすか芸術劇場」で行われ、今年は銀賞を受賞した。

㈲川口写真館
代表取締役　川口修一〔昭和44年卒〕
宇都宮市北一の沢21-19　☎028-622-4641

㈱安藤設計（一級建築士事務所）
http://www3.ocn.ne.jp/~andoarc/
代表取締役　安藤英夫〔昭和43年卒〕
専務取締役　安藤寛樹〔昭和45年卒〕
総務部長　安藤篤史〔平成 9年卒〕
宇都宮市山本1-3-14　☎028-625-2875

㈲朋友塗装工業（建築・塗装・吹付工事）
代表取締役　小野朋之〔昭和61年卒〕
宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082
FAX 028-639-7220

作新学院高等学校　P・T・A
会長　片柳二郎
宇都宮市一の沢1-1-41　☎028-648-1811

硬式野球部
甲子園応援奮戦記

総合進学部　教頭　大出　聡

平成12年(2000年)の春、それ以上に遠く長い道が夏の甲子園だった。常総学院を破って21年振りの選抜出場も大きな感動を覚えたが、今夏の甲子園はそれ以上の感動を与えてくれた。ドラマは栃木工業高校戦で幕を開けた。敗戦濃厚だった試合を九回二死から同点にし、延長戦でサヨナラ勝ち。この時点で甲子園を確信したのは私だけだろうか？迎えた宇都宮工業高校との決勝戦。真夏の炎天下、清原球場の９千人を越える大観衆の中、悲願の夏の甲子園出場を31年ぶりに決定した。勝利の瞬間、スタンド上空に何本もの団扇が舞い歓喜の渦が巻き起こった。

甲子園では、組み合わせの結果、初戦は大会２日目の第２試合長野日大高に決まり、本校生徒、一般応援バス40台総勢２千人の大応援団が一路甲子園を目指したのは、試合前日の夜だった。途中何ヶ所かのサービスエリアに立ち寄ったが、至るところで「作新がんばれ」との声援をいただき、改めて作新の伝統の重みを実感させられた。２日にわたる雨での順延は生徒の長旅の疲れを癒せたが、宿泊場所の確保は至難を極めた。また多くの一般の方が仕事の都合で帰りを余儀なくされ、球場に入ることなく吹田サービスエリアを後にしたのは宇都宮を出てから３日目の夜だった。

甲子園大会　応援団

試合当日、５万の大観衆で埋め尽くされた球場に生徒たちは臆することなく、あらん限りの大声援を送り続けた。守備のときは鳴り物入りの応援は禁止され、拍手と声だけの声援だったが広い甲子園球場に響き渡り、選手たちも声援を背に巧守巧打で応え、持てる力を十二分に発揮した溌剌とした真剣なプレーは、大観衆を魅了した。

結果は惜敗であったが、「ナイスゲーム、作新またこいヨ」の励ましをいたる所で受け、「来年こそは」を胸に、多くの感動と思い出をみやげに帰途についた。記録にも記憶にも残る一夏だった。

㈲ 泉 商販（全国有名味噌特約店）
代表取締役　大木利夫〔昭和35年卒〕
宇都宮市御幸本町4736-34　☎028-613-1818

花と園芸
㈱藤野グリーンセンター
代表取締役　藤野善勝〔昭和35年卒〕
宇都宮市さつき2-3-5　☎028-653-8660